

2008年度の診療情報管理室のスタッフは2名（専任1名・医事室長兼務1名）で主に下記の業務を実施した。診療情報管理士の講義受講中だった2名（1名は医事スタッフ）が5月に認定試験に合格し、計3名が有資格者となった。

1. 退院患者疾病統計

2008年度は退院患者数が前年度に比べ大幅に増加した。疾病の割合はほぼ例年どおりで、

No.1 消化器系の疾患 16.2%

No.2 循環器系の疾患（脳血管系疾患を含む） 15.7%

No.3 損傷中毒およびその他の外因の影響が13%となった。

2008年度から毎月診療連絡会議で前々月の退院患者疾病統計を報告した。

年度別 退院患者疾病統計比較

ICD大分類	2006	2007	2008
感染症及び寄生虫症	77	72	60
新生生物	213	214	223
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15	18	26
内分泌栄養及び代謝疾患	55	55	81
精神及び行動の障害	26	9	4
神経系の疾患	35	37	30
耳及び乳様突起の疾患	1	11	10
循環器系の疾患	270	283	285
呼吸器系の疾患	205	186	215
消化器系の疾患	257	294	295
皮膚及び皮下組織の疾患	16	18	28
筋骨格系及び結合組織の疾患	39	52	92
尿路性器系の疾患	114	76	99
症状徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	127	78	93
損傷中毒及びその他の外因の影響	215	262	236
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	41	34	43
合 計	1,706	1,699	1,820

2. 手術別診療報酬概算の作成

当院で代表的な3手術についての概算を、2007年度分レセプトを基に作成し、診療連絡会議に報告し、2008年度のOP報酬目安とした。

手術名	平均入院日数	平均点数
前立腺生検	3.2	9,392
内視鏡的大腸ポリープ切除術	3.0	12,560
腹腔鏡下胆囊摘出術	10.4	57,512

3. 宇城市MRI脳検診

2005年度から宇城市ではMRI脳検診が診実施されている。当院での受診者は過去5年間で2,764名となった。2008年度にはMRIに加え、希望者にはMRAの検査も行った。MRIの撮影を当院で行い、その画像を済生会熊本病院へ転送し、脳外科専門医師へ遠隔診断を依頼した。診療情報管理室では宇城市から受診者名簿を受け取り、検診までの準備、検診後の事務処理、受診者への結果報告書の発送、宇城市への報告と請求などの事務処理全般を行った。

結果	年度	2005	2006	2007	2008	合計
異常なし		616	724	565	165	2,070
以上所見軽度		178	249	137	29	593
要経過観察		1	8	2	5	16
要再検		3	3	2	5	13
要精査		11	5	18	11	45
要治療		1	6	9	0	16
脳外科受診		3	1	4	3	11
合計		813	996	737	218	2,764

4. サマリー作成率

各医師の協力により、2008年度のサマリー作成率は平均で99.1%となった。

尚、転棟・転科時の間サマリーについても、タイムリーナー督促が効を奏し高い作成率となった。

